

アルビオン白神研究所にて 再生可能エネルギーの地産地消を実現 地元秋田のCO₂排出量ゼロの電気を使用開始

株式会社アルビオン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 章一)は、秋田県(知事:佐竹 敬久)および東北電力株式会社(取締役社長 社長執行役員:樋口 康二郎^{※1}、以下「東北電力」)が共同で提供する「あきたEネ! オプション水力100%」への加入を通じて、2022年6月1日より、アルビオン白神研究所(秋田県藤里町)内で、地元秋田のCO₂を排出しない電気の使用を開始しました^{※2}。同日、執り行われた認証書交付式には、当社代表取締役社長 小林 章一が出席し、認証書を受け取りました。



白神研究所 抽出研究棟



認証書を手にする当社代表取締役社長 小林 章一(中央)
東北電力秋田県北営業所所長 松田 由美氏(左)・秋田県産業労働部公営企業課課長 小林 栄幸氏(右)

「あきたEネ! オプション水力100%」とは、秋田県と東北電力が共同で提供する電気供給プランで、県内においてCO₂排出削減に取り組む企業等に向け、CO₂を排出しない県営水力発電所の電気を供給することで、再生可能エネルギーの地産地消につなげる取り組みです。

植物研究の拠点であるアルビオン白神研究所は、廃園となった保育園を再利用して2010年に開所。以来、耕作放棄地の有効活用や県内の雇用拡大など、地域活性につながる取り組みに努めています。2021年には、同研究所の一施設として、自社栽培した植物エキスの製造、抽出技術研究、発酵技術研究を行う「抽出研究棟・ALBION Shirakami Vineyard & Winery」を開設。この度、当施設の電力の見直しを図り、CO₂を排出しない電気の使用認証を取得しました。

これからもアルビオンは、事業を通じ持続可能な社会の実現に向け積極的に取り組んでまいります。

※1樋口氏の「樋」は、一点しんによる

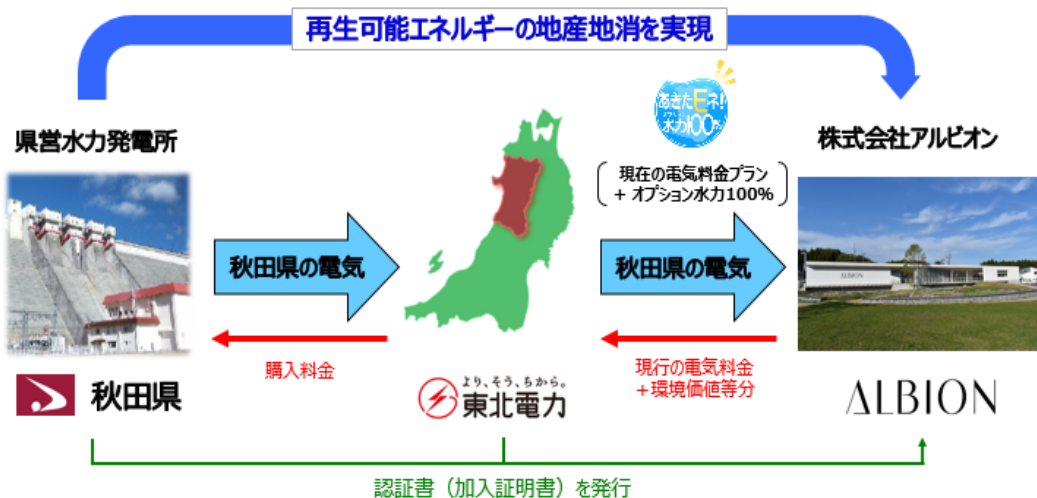
※2株式会社アルビオン「白神研究所 抽出研究棟・ALBION Shirakami Vineyard & Winery」において
(秋田県山本群藤里町大字粕毛字清水岱1-1)

【資料】

■「あきたEネ！オプション水力100%」について

秋田県内で、CO2排出削減に取り組む企業等に向けて、CO2を排出しない地元秋田の県営水力発電所の電気を供給するプラン。

<スキームイメージ>



■アルビオン白神研究所（秋田県山本郡藤里町／2010年開所）

世界自然遺産の白神山地の麓、秋田県藤里町の協力を得て、研究所とパイロットファームを設立。トレーサビリティの確保と、植物の力を引き出す栽培技術・バイオテクノロジー研究を目的とした植物研究の拠点です。2021年6月には抽出研究棟が加わり、美容効果が期待できる植物の研究、栽培、植物エキスの抽出を行っています。